

いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

Vol.14
H27. 2. 4

育苗は米作りの第一歩

- ◆ 種子は毎年更新しましょう。(JA米条件の1つの項目です。)
- ◆ 種子消毒は正しく行う。
- ◆ 浸種は十分にを行い催芽はハト胸にそろえる。

種子消毒

● 浸漬法について

薬液浸漬には、定められた薬量、時間を厳守し
浸漬水温も10℃以上に保つことが大切です。

※微生物農薬(タフブロック)

農薬成分カウントされない安全な農薬もあります。

【薬剤希釈表】

種モミの量	4kg	12kg	20kg
水の量	8ℓ	24ℓ	40ℓ
テクリードCF	40mℓ	120mℓ	200mℓ
スミチオン乳剤	8mℓ	24mℓ	40mℓ



浸種

● 浸種初期の水温に注意！！

- ・コシヒカリは休眠が深い品種です。
- ・積算温度は120℃が適当です。
- ・適温の清水でたっぷり浸種し
数日毎に新しい水に換えてください。
- ・浸種中は、種子の上下の入れ替えを行い、
積算温度がムラとにならないよう注意してください。
- ・浸種初期に10℃未満の低水温にあうと
発芽率が低下(二次休眠)することがある。

13℃前後が
適温です。

催芽

● 温度と時間に注意！！

- ・長すぎると芽が伸びてしまい
播種精度の低下の原因になる。
- ・温度が高いと細菌性病害の
発生を助長する。



▲ハト胸状態

3月末
まで!!

TAC information

ラウンドアップマックスロード20ℓを
購入された方に今なら2ℓプレゼント!!



● 温湯消毒法について

温度60℃と殺菌時間10分を厳守。

× 温度が高い
× 時間が長い

発芽が低下

× 温度が低い
× 時間が短い

防除効果が低下

冷たすぎる水(10℃未満)で冷却しない。

※温湯消毒は、ばか苗病への効果がやや低くなる。

※モチなど一部品種については発芽率の低下しやすい
ものもあるので農薬での種子消毒がおすすめです。